

## DRV-240

スタンダード ドライブレコーダー

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルのため、海外で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



#### もしものときは！！

必要な録画/記録ファイルが上書きされないように  
本機の電源をオフにしてmicroSDカードを  
取り出してください。(→ P.13)

本機にmicroSDカードを挿入する前に「microSDカードについて」をお読みください。  
(→ P.11)

#### My-Kenwood (ユーザー登録) のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。  
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。  
<https://jp.my-kenwood.com>

# 目次

---

|                            |    |                              |           |
|----------------------------|----|------------------------------|-----------|
| 安全上のご注意.....               | 4  | 録画ファイルを再生する .....            | 35        |
| 使用上のご注意.....               | 9  | 常時録画の録画ファイルを                 |           |
| microSDカードについて .....       | 11 | 再生する場合 .....                 | 35        |
| もしものときは .....              | 13 | イベント記録の録画ファイルを               |           |
| microSDカードをフォーマットする...     | 13 | 再生する場合 .....                 | 37        |
| 各部の名称とはたらき .....           | 14 | 駐車録画の録画ファイルを                 |           |
| 画面のアイコン表示について .....        | 16 | 再生する場合 .....                 | 39        |
| 本機のセットアップ.....             | 17 | 撮影した写真ファイルを                  |           |
| Step1: 本機の取り付け/配線 .....    | 17 | 再生する場合 .....                 | 40        |
| 付属のシガープラグコードで              |    | <b>設定を変更する.....</b>          | <b>42</b> |
| 接続する.....                  | 19 | メニューを表示する.....               | 42        |
| CA-DR150 (別売品)で接続する....    | 20 | 記録時間の設定を変更する .....           | 47        |
| Step2: 日付および時刻を設定する.....   | 23 | フォルダ/ファイル構成について.....         | 48        |
| Step3: microSDカードを挿入する.... | 25 | KENWOOD ROUTE WATCHER II ... | 49        |
| Step4: 駐車モードをオンにする .....   | 26 | インストールする.....                | 49        |
| 常時録画と駐車モード中の画面表示           |    | 録画ファイルの再生.....               | 49        |
| 時間の設定を変更する .....           | 30 | 画面の操作.....                   | 51        |
| 本機の録画機能について .....          | 31 | 故障かなと思ったら .....              | 54        |
| 機能1 : 常時録画(連続録画) .....     | 31 | 主な仕様 .....                   | 57        |
| 機能2 : イベント記録.....          | 32 | 保証とアフターサービス .....            | 60        |
| 機能3 : 駐車録画 .....           | 33 |                              |           |
| 機能4 : 写真を撮影できます .....      | 34 |                              |           |

本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。



**危険**

人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



**警告**

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。



注意（しなければならない）の内容です。



禁止（してはいけない）の内容です。



実行（かならず行っていただく）の内容です。

#### 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# 安全上のご注意 (必ずお読みください)

## 内蔵電池について (本機は充電式電池を内蔵しています)

### 危険



#### 本機(内蔵電池)の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



#### 内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

### 警告



#### 内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

けがや事故の原因となります。

## 取り付けや配線について



### 警告



**本機はDC12V/24V⊖アース車以外で使用しない**

火災や故障の原因になります。DC12V/24V⊖アース車以外で使用しないでください。

**エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない**

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

**取り付けやアース配線に車両の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない**

交通事故やケガの原因となります。

**視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**

交通事故やケガの原因となります。

**本機は保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない**

視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



**取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術者が必要です。誤った取り付けや配線をするると車両に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

**説明書に従って取り付け・配線をする**

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

**作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

**必ず付属の部品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

**コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する**

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。



車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する  
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する  
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車両の電装品が正常に動作することを確認する  
車両の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態  
で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなど小物部品やmicroSDカードは乳幼児の手の届かないところに置く  
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師  
と相談してください。

本機に付属のシガープラグコードを使用する  
付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む  
確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く  
コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く  
車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバ  
ッテリー上がりの原因となります。

シガープラグは定期的に清掃する  
ほごりが付着していると火災の原因となります。

ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない  
感電の原因となります。



## 注意



水のかかる場所や湿気・ほごり・油煙の多い場所に取り付けけない  
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない  
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



### コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

## 使用方法について



### 警告



#### 分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



#### 音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

#### 機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

#### 故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してシガープラグを抜いてください。事故や火災、感電の原因となります。

#### 運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車両を停車し、サイドブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



#### 雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



#### ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼してください。

## 注意



### 本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



### 走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

### 落としたり使用を中止する

機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

## 異常時の問い合わせ

## 警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する  
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



# 使用上のご注意

## 取り付けについて

- 誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「本機の取り付け/配線」を参照して本機を正しく取り付けてください。(→ P.17)

## ご使用について

- もしものときに備えて、本機の録画機能が正しく働いているか定期的に確認してください。本機で録画したmicroSDカードの映像を本機またはビューアソフト「KENWOOD ROUTE WATCHER II」で再生し、最新のファイルが録画されているかなどの確認を行ってください。(→ P.49)
- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- 車両のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 本機が応答しなくなった場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機の底面にあるリセットボタンを先端が細い爪楊枝等で押します。電源が切れたことを確認してから電源ボタンを押してください。(→ P.14)
- LED信号機には消滅の間隔を短くすることで対応していますが、撮影時の天候や時刻等の要因により点滅の間隔が変わります。また信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。

## 電源について

- 本機の動作電源電圧はDC5Vです。必ず付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150 (別売品)を取扱説明書にしたがって接続してください。ケーブルの改造(バッテリーに直接つなぐ)などは絶対に行わないでください。

## 内蔵バッテリーについて

- 記録時間の目安(バッテリー満充電時)  
駐車モード待機時間：約25分  
常時録画時(連続録画時間)：約15分
- 充電時間の目安  
付属のシガープラグコード使用時：約3時間  
※購入直後はバッテリーが十分に充電されていません。その場合、動作が不安定になったり、駐車録画ができない場合があります。十分に充電してから使用を開始してください。

## 本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のものでも拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。
- ご使用前にブラケットの接着面がはがれていないか、また、本機の固定に緩みなどがないことを確認してからご使用ください。

# microSDカードについて

## 本機で使用するmicroSDカード

- 本機で使用できるのは下記のmicroSDカードです。

|          |             |
|----------|-------------|
| タイプ      | microSDHC   |
| 容量       | 4GB ~ 32GB  |
| スピードクラス  | Class 6以上推奨 |
| ファイルシステム | FAT32       |

本機には16GB (microSDHCカード)が同梱されています。

## 当社推奨microSDカード

- ケンウッド製microSDHCメモリーカード(別売品)
- 詳細は[http://www.kenwood.com/jp/products/car\\_audio/option](http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option)をご覧ください。
- 市販のmicroSDカードを使用するときは、microSDカードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。

## microSDカード使用上のご注意

- 4GB未満のmicroSDカードを使用する場合、記録が残らない場合があります。
- microSDカードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。定期的に新しいmicroSDカードと交換することをお勧めします。
- microSDカードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- カメラなど、他の機器でmicroSDカードのフォーマットを行うと、本機で正常に動作しません。必ずmicroSDカードのフォーマット(初期化)は本機で行ってください。フォーマットできないmicroSDカードは使用できません。
- 本機のデータ読み取りおよび書き込み速度は、microSDカードの仕様によって異なる場合があります。
- 分解や改造を行わないでください。
- microSDカードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温多湿の場所には放置しないでください。

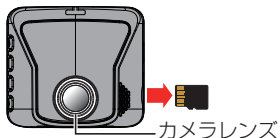
- microSDカードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。
- データが壊れる可能性がありますので記録中や再生中にmicroSDカードを取り出さないでください。
- microSDカードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- 必要なファイルは必ずパソコンなどに保存(コピー)してください。
- microSDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードを着脱するときは、方向を確認し折り曲げたり、強い圧力や衝撃を与えたりしないでください。

### ファイルについてのご注意

- microSDカード内の必要なファイルは必ずパソコンなどに早めに保存(コピー)してください。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されます。
- 本機のmicroSDカードフォーマットや削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、microSDカード内のデータは完全に消去されません。
- 廃棄/譲渡の際は、microSDカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってmicroSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- microSDカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

## もしものときは！！

必要な録画/記録ファイルが上書きされないように本機の電源をオフにしてmicroSDカードを取り出してください。

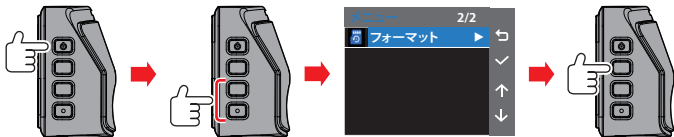


microSDカードを押して、少し飛び出したら引き抜きます。

## microSDカードをフォーマットする

microSDカードを使用する前と2週間に1度くらいを目安にmicroSDカードをフォーマットしてください。必要な映像または写真をパソコンに保存することをお勧めします。

- 1 電源オン中に電源ボタンを押す。メニューを表示して「フォーマット」を選ぶ

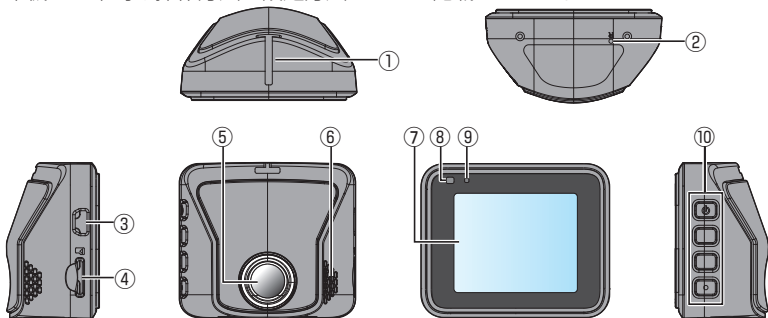


- 2 「SDカードをフォーマットします。全てのデータが消去されますが続けますか？」と表示されるので確定する



# 各部の名称とはたらき

本機の基本的な操作方法と設定方法について記載しています。



① 取付ブラケット挿入部

② リセットボタン

本機をリセットします。(→ P.9)

③ ミニ USB 端子(DC5V)

付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR150 (別売品)を接続します。USBケーブル(市販品)を経由してパソコンとも接続することができます。

④ microSDカードスロット

付属のmicroSDカードを挿入します。(→ P.25)

⑤ カメラレンズ

⑥ スピーカー

## ⑦ 液晶画面

## ⑧ インジケーター

| 状態          | 充電      | 録画       |
|-------------|---------|----------|
| 緑色点灯        | 充電中     | 録画していない* |
| 消灯          | 充電していない | 録画していない* |
| 緑色と橙色が交互に点滅 | 充電中     | 録画中      |
| 赤橙色点灯       | —       | 駐車モード監視中 |
| 赤橙色点滅       | —       | 録画中      |

\*「録画していない」とはメニュー表示中または録画ファイル再生中です。

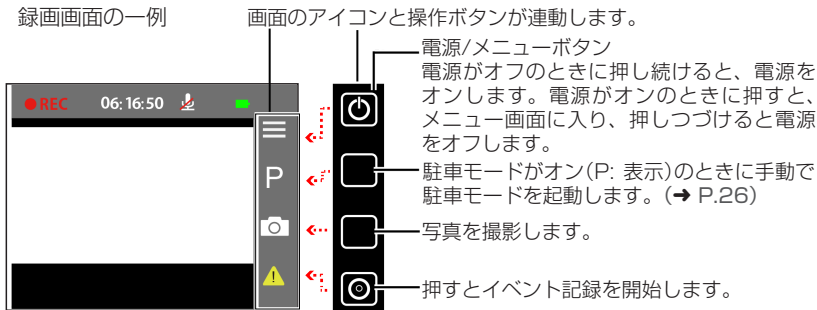
## ⑨ マイク

録画中の音声を収録します。

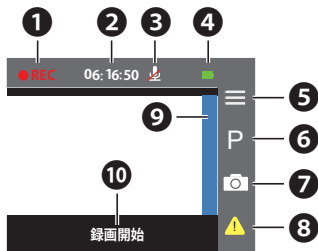
## ⑩ 操作ボタン

4つのボタンの機能を、画面に表示されるアイコンで表しています。ボタンの機能は表示している画面によって異なります。

録画画面の一例



# 画面のアイコン表示について



## 4 バッテリーアイコンについて

| アイコン | 状態             |
|------|----------------|
|      | 充電中            |
|      | 緑(満充電)         |
|      | 緑(2/3)         |
|      | 緑(1/3)         |
|      | 赤(点灯:残りわずか)    |
|      | 赤(点滅:まもなく電源オフ) |
| -    | 充電無し           |

| No. | アイコン   | 説明  |
|-----|--------|---|
| ①   |        | 録画中、アイコン(●)が点滅します。  |
| ②   |        | 現在時刻を表示します。   |
| ③   |        | :音声記録無し(オフ)   |
| ④   |        | バッテリー残量を表示します。  |
| ⑤   |        | メニュー画面を表示します。   |
| ⑥   |        | 手動で駐車モードを起動します。   |
| ⑦   |        | 写真を撮影します。   |
| ⑧   |        | 手動でイベント記録を起動します。<br>*イベント記録中に(■)ボタンを押すとイベント記録を停止し、常時録画に切り替わります。                     |
| ⑨   | オフ  オン | 「駐車モード」の「検出方法設定」で「動作検出&衝撃検出」または「動作検出」を選択した場合に検出レベルを表示します。検出レベルが高いほどアイコンの反応も大きくなります。 |
| ⑩   |        | 録画開始時に表示します。  |
|     |        | イベント記録中に表示します。  |

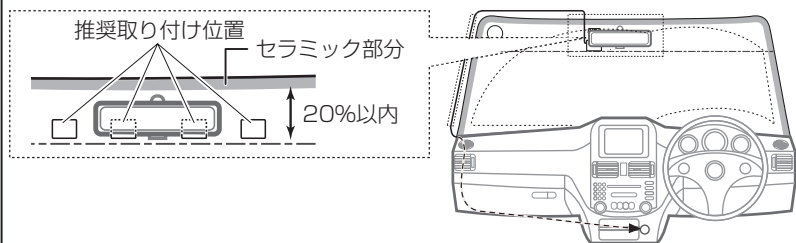


# 本機のセットアップ

＜本機をご使用になる前に必ず実行してください。microSDカードを挿入していない状態でセットアップを開始してください。＞

## Step 1: 本機の取り付け/配線

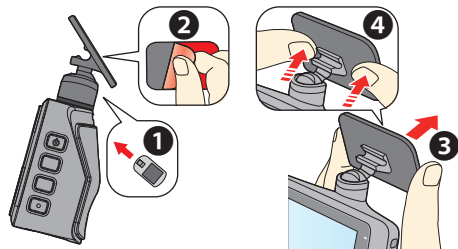
- フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げないルームミラーで隠れる位置に取り付けてください。



- 運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 車検証ラベル等に重ならないよう注意して取り付けてください。
- 本機を車両に取り付けるときは、車両の取扱説明書を確認して車両装備(運転支援システム等)の妨げにならない場所を選んで取り付けてください。
- 運転やエアバッグ動作の妨げにならないよう注意して取り付けてください。
- 本機を地上デジタルアンテナまたはテレビアンテナの近くや、電装品の近くに設置しないでください。テレビの受信感度の低下やちらつきノイズの原因になる可能性があります。

- 電源コードをフロントピラーなどに通すときは、下記の点に注意して配線してください。
- 電源コードとエアバッグが干渉しないようにするため、電源コードがエアバッグよりも前方または上方になるように配線してください。
- フロントピラーカバーが特殊クリップ等で固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- 電源コードは、運転操作の妨げにならないようソフトテープ等でまとめてください。
- 本機を取り付け後、車両電装品が正常に動くか必ず動作確認を行ってください。

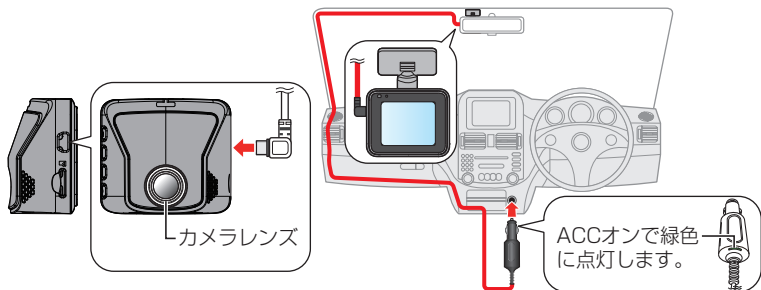
- 1 車が水平な場所に駐車していることを確認する
- 2 設置する場所を市販のクリーニングクロスなどで汚れや脂分を取り除く
- 3 以下の手順に従って、本機を車内にしっかりと取り付ける



貼り付け位置を確認して貼り付けます。粘着テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後24時間以上放置してから使用してください。

## 付属のシガープラグコードで接続する

- 1 付属のシガープラグコードをシガーライターソケットに接続して本機に電源コードを接続し、配線する



- 2 エンジンキーをオンにする

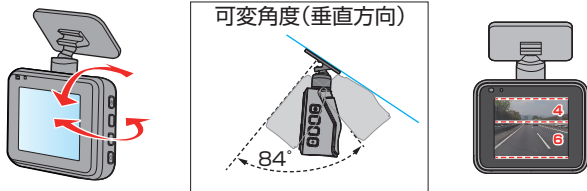
電源がオンになり充電が始まります。シガープラグコードのランプが緑色に点灯します。

- 3 そのまま3分以上充電する

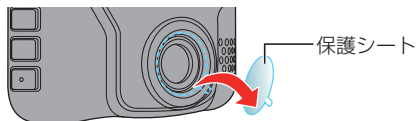
3分以上充電すると使用できるようになります。

- 4 取り付け角度を調整する

実際使用するときカメラの視野が水平な地面と平行で、地上と空の比率が約6対4になっていることを確認してください。



## 5 カメラレンズの保護シートをはがす



## 6 電源ボタンを電源がオフになるまで押し続ける。もう1度電源ボタンをオンになるまで押し続けて電源を入れ直す

角度調整が終了したら必ず電源を入れ直してください。また、電源をオンにしたまま本機を取付ブラケットから外したり、角度が変わってしまったときも電源がオンの状態で角度を調整し直して、電源を入れ直してください。調整した角度は電源が入ったときに記憶されます。

## CA-DR150 (別売品)で接続する

- 接続をする前にCA-DR150 (別売品)に付属の取扱説明書に記載されている「安全のご注意」、「使用上のご注意」をよくお読みいただき安全に取り付けてください。また、スイッチ設定、配線についても事前にお読みください。

### 1 「電圧カットオフ値設定」と「オフタイマー設定」を設定する

CA-DR150 (別売品)に付属の取扱説明書を参照して必ず設定してください。

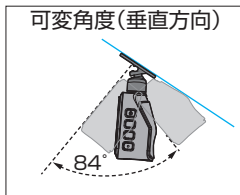
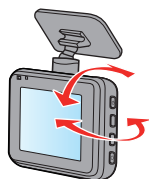


### 3 エンジンキーをオンにして、そのまま3分以上充電する

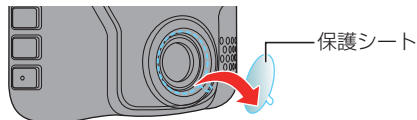
3分以上充電すると使用できるようになります。

### 4 取り付け角度を調整する

実際使用するときにはカメラの視野が水平な地面と平行で、地上と空の比率が約6対4になっていることを確認してください。



### 5 カメラレンズの保護シートをはがす



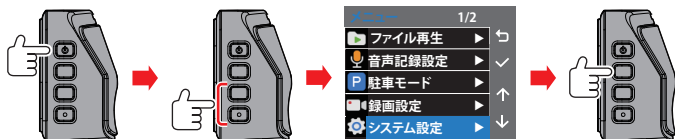
### 6 電源ボタンを電源がオフになるまで押し続ける。もう1度電源ボタンをオンになるまで押し続けて電源を入れ直す

角度調整が終了したら必ず電源を入れ直してください。また、電源をオンにしたまま本機を取付ブラケットから外したり、角度が変わってしまったときも電源がオンの状態で角度を調整し直して、電源を入れ直してください。調整した角度は電源が入ったときに記憶されます。

## Step2: 日付および時刻を設定する

本機はGPSを搭載しておりません。自動で日付や時刻は設定されません。充電後、電源を入れて日付および時刻を設定してください。表示されている時刻が録画ファイルに記録されます。

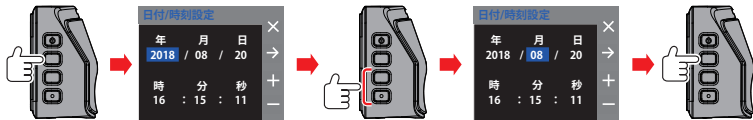
### 1 メニューを表示して「システム設定」を選ぶ



### 2 「日付/時刻設定」を選ぶ



### 3 変更したい項目(年・月・日・時・分・秒)を選択し、値を変更する。



### 4 手順3の操作を繰り返して「秒」までを変更する

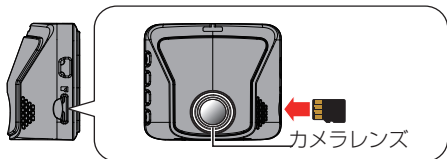
## 5 「秒」の値を変更後、確定ボタンを押す





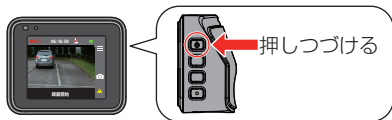
## Step3: microSDカードを挿入する

- 1 電源がオフになっていることを確認してmicroSDカードを本機に挿入する



microSDカードを取り出すときは、microSDカードを押してmicroSDカードが少し飛び出したら引き抜きます。

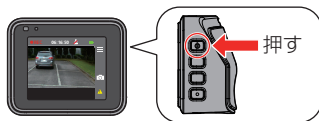
- 2 電源ボタンを電源がオンになるまで押しつづける



駐車モードを使用しない場合は、ここでセットアップは完了です。駐車モードを使用する場合は、「Step 4」に進んでください。(→ P.26)

## Step4: 駐車モードをオンにする

- 1 電源ボタンを押してメニューを表示する



- 2 「駐車モード」を選ぶ



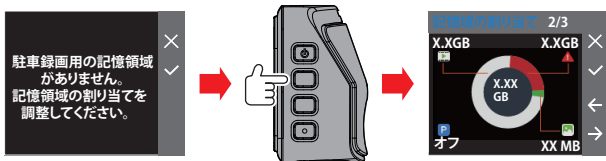
- 3 「駐車モード設定」を選ぶ



- 4 「オン」を選ぶ

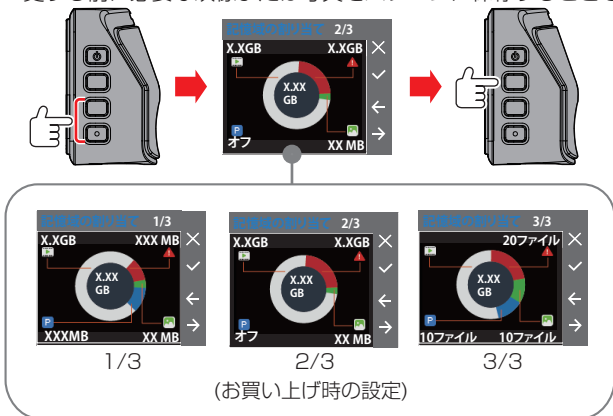


## 5 確定ボタンを押す



## 6 「記憶領域の割り当て」を「1/3」または「3/3」に設定する

- お買い上げ時は「2/3」に設定されています。「2/3」は駐車録画の割り当てがない設定です。駐車モードを使用する場合は必ず「1/3」または「3/3」に設定してください。
- 割り当てを変更するとmicroSDカード内のデータが消去されます。設定を変更する前に必要な映像または写真をパソコンに保存することをお勧めします。



| 記憶域の<br>割り当て                             | microSD<br>カード容量 | 常時録画     | イベント記録       | 駐車録画                    | 写真           |
|--|------------------|----------|--------------|-------------------------|--------------|
| <b>1/3</b><br>容量で割り当て                    | 4GB              | 約32分     | 約3分          | 約1分                     | 約75枚         |
|  | 8GB              | 約1時間5分   | 約7分          | 約3分                     | 約150枚        |
|  | 16GB             | 約2時間10分  | 約15分         | 約7分                     | 約300枚        |
|  | 32GB             | 約4時間20分  | 約30分         | 約15分                    | 約600枚        |
| <b>2/3</b><br>容量で割り当て<br>(お買い上げ<br>時の設定) | 4GB              | 約32分     | 約6分          | 駐車録画の<br>記憶域は<br>ありません。 | 約75枚         |
|  | 8GB              | 約1時間5分   | 約14分         |                         | 約150枚        |
|  | 16GB             | 約2時間10分  | 約30分         |                         | 約300枚        |
|  | 32GB             | 約4時間20分  | 約60分         |                         | 約600枚        |
| <b>3/3</b><br>ファイル数で<br>割り当て             | 4GB              | 約32分*    | 最大<br>20ファイル | 最大<br>10ファイル            | 最大<br>10ファイル |
|  | 8GB              | 約1時間5分*  |              |                         |              |
|  | 16GB             | 約2時間10分* |              |                         |              |
|  | 32GB             | 約4時間20分* |              |                         |              |

\*常時録画はmicroSDカードの残り容量により変わります。

- 付属のmicroSDカード：16GB (microSDHCカード)
- 記録時間および写真撮影枚数は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。
- 録画は録画領域がなくなると古いファイルから上書きして録画を続けます。

設定を変更すると「SDカードをフォーマットします。全てのデータが消去されますが続けますか?」とメッセージが表示されます。

## 7 確定ボタンを押す



フォーマットが開始され駐車モードが「オン」に設定されます。

## 8 別売のCA-DR150を接続している場合は、「Step4:駐車モードをオンにする」の手順1と2の操作を行って手順3で「自動起動設定」を選び、設定が「感度：中」になっていることを確認する

本機の「画面表示設定」のお買い上げ時の設定は「常時表示」です。駐車モード中のときも画面表示はオンになります。画面表示をオフにしたい場合は「常時録画と駐車モード中の画面表示時間の設定を変更する」を参照して設定を変更してください。(→ P.30)

# 常時録画と駐車モード中の画面表示時間の設定を変更する

- 操作をしていないときの画面表示がオフになるまでの時間を設定できます。
- お買い上げ時は「常時表示」に設定されています。駐車モード中も画面表示がオンになったままになります。
- 駐車モードとそれ以外のモードでの表示時間を別々に設定することはできません。
- 「常時表示」以外に設定すると、操作をしなかった場合に、設定した時間で画面表示がオフになります。
- イベント記録中と録画ファイルの再生中は、画面表示がオフになる機能は働きません。

## 1 メニューを表示して「システム設定」を選ぶ



## 2 「画面表示時間設定」を選ぶ



## 3 設定したい時間を選ぶ



# 本機の録画機能について

本機の録画機能は4つあります。

電源がオンになると常時録画(機能1)を開始します。

また、電源オン時に衝撃を検知するとイベント記録(機能2)を行います。

本機の電源がオフのときは駐車モードで駐車録画(機能3)ができます。

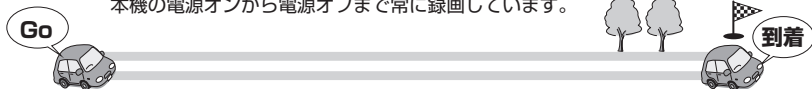
その他の機能として写真(機能4)も撮影することができます。

・ドアを閉めたときの振動を検知して、録画を開始する場合があります。

## 機能1：常時録画(連続録画)

### 走行中の映像を常に録画します

本機の電源オンから電源オフまで常に録画しています。



エンジンキーをオンにすると本機の電源が入り、数秒後に自動的に常時録画(連続録画)が始まります。常時録画ではファイルを分割して保存しています。

経過時間 →

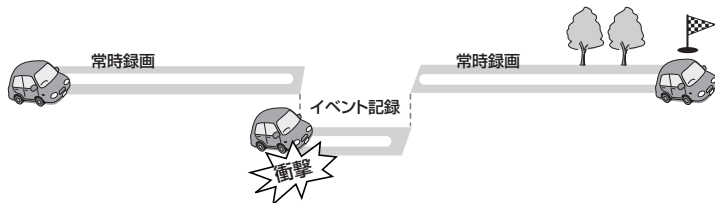


- ・常時録画ファイルは「Video」フォルダに保存されます。(→ P.48)
- ・録画ファイルは古いファイルから自動で上書きされます。
- ・メニューの「録画設定」→「記録時間設定」で1ファイルごとの録画時間を設定できます。お買い上げ時は3分に設定されています。(→ P.45)

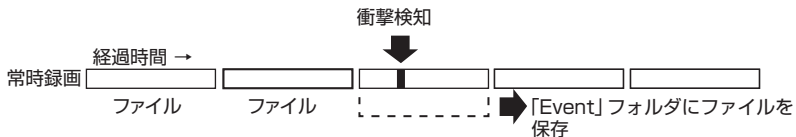
## 機能2：イベント記録

### 走行中に衝撃を検知したら録画します

本機が衝撃を検知すると常時録画から、衝撃を検知したファイルだけを抜き出して別ファイルで保存します。



常時録画中に突発的な衝撃や予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。イベント記録を手動で始動させたい場合はイベント記録ボタンを押します。イベント記録が完了すると常時録画(連続録画)に戻ります。



- イベント記録ファイルは「Event」フォルダに保存されます。(→ P.48)
- 録画ファイルは古いファイルから自動で上書きされます。
- メニューの「録画設定」―「記録時間設定」で1ファイルごとの録画時間を設定できます。お買い上げ時は3分に設定されています。(→ P.45)



## 機能3：駐車録画

### 駐車中に衝撃および動作を検知したら録画します

- ・ 駐車録画機能を使うときは「本機のセットアップ」の「Step4: 駐車モードをオンにする」を参照して設定してください。(→ P.26)

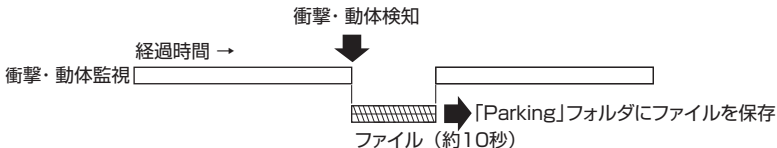
駐車録画は別売りのCA-DR150を接続した場合と接続していない場合で動作が異なります。CA-DR150(別売品)を接続したときは、録画時間が長くなります。実際の時間はCA-DR150の設定によります。設定についてはCA-DR150の取扱説明書をご覧ください。CA-DR150を接続していないときは駐車モードは約最大25分(内蔵電池が満充電で「画面表示時間設定」が「10秒」に設定されているとき)で終了となります。また、駐車モードの監視に入るタイミングも異なります。

- CA-DR150(別売品)を接続していないとき  
駐車場などに車を停めて本機の電源がオフになるとすぐに駐車モード監視中になります。衝撃や動作を検知すると録画を開始します。

電源オフ → 駐車モード監視中 → 衝撃・動作検知 → 駐車録画開始

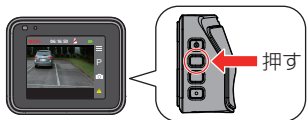
- CA-DR150(別売品)を接続しているとき  
駐車場などに車を停めて本機に振動などの衝撃が約5分加わらないと駐車モード監視中になります。衝撃や動作を検知すると録画を開始します。駐車モードに入るまでの5分間は常時録画として録画されます。

車両に振動など何も加わらない状態が約5分続く → 駐車モード監視中 → 衝撃・動作検知 → 駐車録画開始



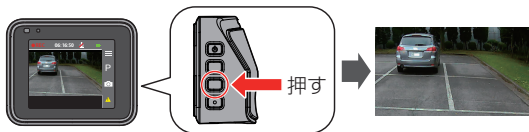
- ・ 駐車録画ファイルは「Parking」フォルダに保存されます。(→ P.48)
- ・ 駐車録画の録画時間は約10秒です。変更できません。

- 録画ファイルは古いファイルから自動で上書きされます。
- 継続的に衝撃がかかった場合は常時録画に切り替わります。
- 駐車録画は衝撃・動体検知により最大60秒まで延長されます。
- 衝撃や動体を検知してから数秒後に駐車録画が開始されます。
- ドアを閉めたときの振動を検知して駐車録画が開始されることがあります。
- 検知の種類(衝撃、動作検知)についてはメニューの「駐車モード」-「検出方法設定」で設定できます。(→ P.43)
- CA-DR150 (別売品)を接続しているときに、メニューの「駐車モード」-「自動起動設定」を「手動」に設定しているときは、車両に振動などが何も加わらない状態が5分続いても自動で駐車モードにはなりません。本機の下図のボタンを押して駐車モードにしてください。



## 機能4：写真を撮影できます

### 表示している映像を写真として保存します



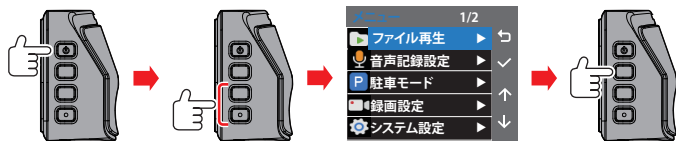
- 写真ファイルは「Photo」フォルダに保存されます。(→ P.48)
- 写真ファイルは古いファイルから自動で上書きされます。
- 駐車録画中、メニュー表示中または録画ファイルの再生中は写真を撮影することはできません。

# 録画ファイルを再生する

本機で録画したファイルを本機で再生します。

## 常時録画の録画ファイルを再生する場合

### 1 メニューを表示して「ファイル再生」を選ぶ



### 2 常時録画の録画ファイルがある「常時」を選ぶ



### 3 再生したいファイルを選ぶ

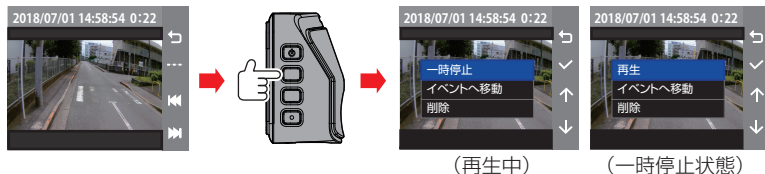


選んだファイルが再生されます。

## 4 再生中のファイル进行操作する

再生中に上から2つ目のボタンを押すと操作メニューが表示されます。

操作メニュー



### 再生/一時停止：

上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを再生/一時停止します。

◀を押すと再生中のファイルよりも新しいファイルに、▶を押すと再生中のファイルよりも古いファイルに移動して再生を開始します。

◀◀/▶▶を長押しすると早戻し/早送りができます。

### イベントへ移動：

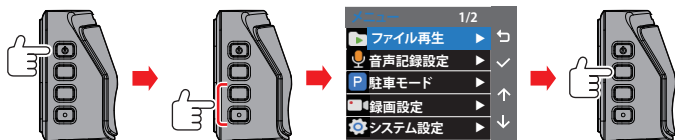
「イベントへ移動」を選択し、上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを「Event」フォルダに移動します。

### 削除：

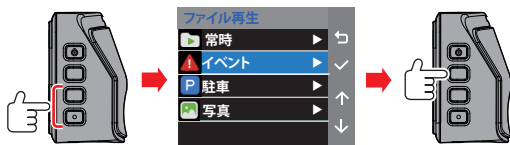
「削除」を選択し、上から2つ目のボタンを押すと「削除しますか？」と表示されます。もう1度押すと表示中のファイルが削除されます。

## イベント記録の録画ファイルを再生する場合

### 1 メニューを表示して「ファイル再生」を選ぶ



### 2 イベント記録の録画ファイルがある「イベント」を選ぶ



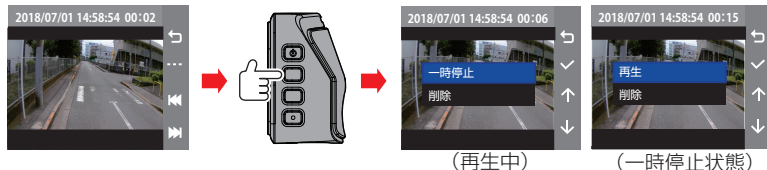
### 3 再生したいファイルを選ぶ



選んだファイルが再生されます。

## 4 再生中のファイル进行操作する

再生中に上から2つ目のボタンを押すと操作メニューが表示されます。  
操作メニュー



### 再生/一時停止：

上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを再生/一時停止します。

◀◀を押すと再生中のファイルよりも新しいファイルに、▶▶を押すと再生中のファイルよりも古いファイルに移動して再生を開始します。

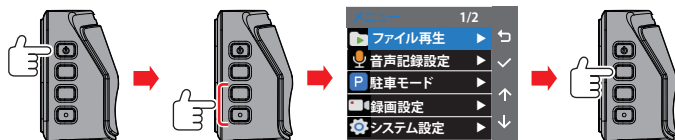
◀◀▶▶を長押しすると早戻し/早送りができます。

### 削除：

「削除」を選択し、上から2つ目のボタンを押すと「削除しますか？」と表示されます。もう1度押すと表示中のファイルが削除されます。

## 駐車録画の録画ファイルを再生する場合

### 1 メニューを表示して「ファイル再生」を選ぶ



### 2 駐車録画の録画ファイルがある「駐車」を選ぶ



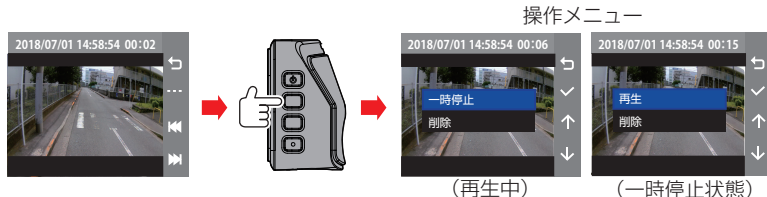
### 3 再生したいファイルを選ぶ



選んだファイルが再生されます。

## 4 再生中のファイル进行操作する

再生中に上から2つ目のボタンを押すと操作メニューが表示されます。



### 再生/一時停止：

上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを再生/一時停止します。

◀◀を押すと再生中のファイルよりも新しいファイルに、▶▶を押すと再生中のファイルよりも古いファイルに移動して再生を開始します。

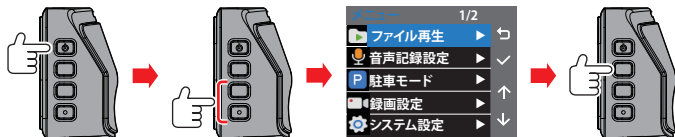
◀◀/▶▶を長押しすると早戻し/早送りができます。

### 削除：

「削除」を選択し、上から2つ目のボタンを押すと「削除しますか？」と表示されます。もう1度押し则表示中のファイルが削除されます。

## 撮影した写真ファイルを再生する場合

### 1 メニューを表示して「ファイル再生」を選ぶ





## 2 撮影した写真ファイルがある「写真」を選ぶ



## 3 再生したいファイルを選ぶ

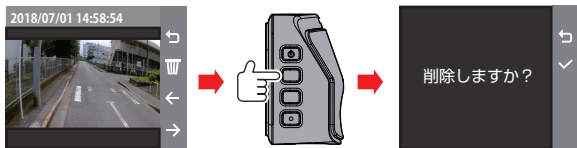


選んだファイルが再生されます。

←/→：再生中に押すと再生中のファイルよりも新しいファイル/再生中のファイルよりも古いファイルを再生します。

ファイルを削除するには上から2つ目のボタン(ゴミ箱)を押す。

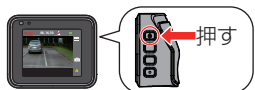
「削除しますか?」と表示されます。もう1度押すと表示中のファイルが削除されます。



# 設定を変更する

## メニューを表示する

### 1 電源ボタンを押す



メニューが表示されます。

駐車モードのときは電源ボタンを押して駐車モードを解除してください。

### ■ メニュー画面操作



ひとつ前に戻ります。

項目を決定します。

メニューを上に移動します。

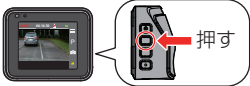
メニューを下に移動します。


メニュー表示中は録画はできません


\*お買い上げ時の設定

| メニュー   | 項目                      | 機能説明   |
|--------|-------------------------|--|
| ファイル再生 | 常時*<br>イベント<br>駐車<br>写真 | フォルダとファイルを選んで再生します。<br>ファイル再生中に、ファイルの移動や削除も行えます。(→ P.35) |

| メニュー   |         | 項目                       | 機能説明   |
|--------|---------|--------------------------|--|
| 音声記録設定 |         | オン*<br>オフ                | 録画時に音声を同時に記録するかしないかを設定します。   |
| 駐車モード  | 駐車モード設定 | オン<br>オフ*                | 駐車モードを使用するかしないかを設定します。駐車モードを「オン」にすると記憶域の設定と、microSDカードのフォーマットをする画面が表示されます。<br>必要なファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから設定を変更してください。<br>設定の操作については「本機のセットアップ」のStep 4をご覧ください。(→ P.26) |
|        | 検出方法設定  | 動作&衝撃検出*<br>衝撃検出<br>動作検出 | 駐車モードの録画を開始する検出方法を設定します。<br>動作&衝撃検出：車両の衝撃とレンズ範囲内の動体を検知する両方を設定します。<br>衝撃検出：車両の衝撃を検知します。<br>動作検出：レンズ範囲内の動体を検知します。  |

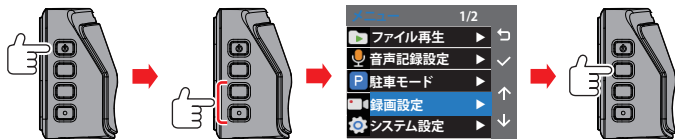
| メニュー  |          | 項目                          | 機能説明  |
|-------|----------|-----------------------------|---|
| 駐車モード | 自動起動設定   | 感度：高<br>感度：中*<br>感度：低<br>手動 | <p>自動起動設定は約5分車両に振動が加わらなかった場合に駐車モードが自動で起動します。この設定は渋滞などで低速走行中などに、駐車モードが自動で起動しないようにする機能です。低速走行中に駐車モードに頻繁に入ってしまうときは「感度：低」にしてください。駐車モードで速度を上げても常時録画に戻らず、駐車モードのままのときも「感度：低」に設定を変更してください。</p> <p>感度(高)：駐車モードが起動しやすく常時録画に戻りにくい<br/>           感度(低)：駐車モードが起動しにくく常時録画に戻りやすい</p> <p>手動：自動で起動せずに、手動で駐車モードを起動します。</p> <p>手動で駐車モードを起動するには画面に「P」が表示されているときに下図のボタンを押します。</p>  |
|       | 動作検出感度設定 | 低<br>中*<br>高                | <p>駐車モードのときにレンズ範囲内の人や車の動きを検知する感度を設定します。</p> <p>低(動作検知をしにくくする) ↔ 高(動作検知をしやすくする)</p>  |
|       | 衝撃検出感度設定 | 低<br>中*<br>高                | <p>駐車モードのときに本機に加わる衝撃の感度を設定(低0.4G、中0.3G、高0.2G)します。</p> <p>低(衝撃を検知しにくくする) ↔ 高(衝撃を検知しやすくする)</p>  |

| メニュー |          | 項目   | 機能説明  |
|------|----------|--|---|
| 録画設定 | 記録時間設定   | 1分<br>3分*<br>5分  | 常時録画(連続録画)およびイベント記録に記録される1ファイルごとの録画時間を設定します。常時録画とイベント記録の録画時間を別々に設定することはできません。   |
|      | HDR      | オン*<br>オフ  | 明暗差が大きなシーンでも白トビや黒つぶれを軽減する機能を設定します。  |
|      | 明るさ      | -1..0*..1  | 記録される画像の露出(明るさ)レベルを設定します。   |
|      | 衝撃検出感度設定 | <br>低 高 | イベント記録の衝撃検出の感度を設定(低3.0G～高0.5G)します。<br>低(衝撃検出をしにくくする)↔高(衝撃検出をしやすくする)   |
|      | カスタム文字設定 | —  | 録画ファイルの映像右下に設定した文字を記録することができます。文字は最大12文字まで設定できます。<br>←/→：カーソルが左右に移動します。<br>☑：選択中の文字を確定します。<br>入力した文字を削除するには、<br>←/→で「←」を選んで☑を押すと文字が削除されます。<br>「_」を選んで☑を押すと空白(空白)が確定されます。<br>「OK」を選んで☑を押すと設定が登録されます。 |

| メニュー       |  | 項目  | 機能説明   |
|------------|--|---|--|
| システム<br>設定 | 日付／時刻設定  | 手動設定<br>(画面参照)  | 日付(年月日)と時刻(時分秒)を設定します。<br>(→ P.23)   |
|            | 操作音設定  | オン*<br>オフ   | 警告音および、メニューの操作音を出力するか<br>しないかを設定します。   |
|            | 音量設定   |  | 録画ファイルを再生するときの音量レベルと警告音、メニュー画面を操作するときの操作音を設定します。   |
|            | 画面表示時間<br>設定   | 常時表示*<br>10秒<br>1分<br>3分  | 常時録画と駐車モード中に本機の操作をしていないときに、画面表示をオフにするまでの時間を設定します。<br>画面表示をオンにするには、本機のボタンのいずれかを押します。詳細は「常時録画と駐車モード中の画面表示時間の設定を変更する」をご覧ください。(→ P.30) |
|            | 記憶域の割り当て   | 1 / 3<br>2 / 3*<br>3 / 3  | 常時録画 / イベント記録 / 駐車録画 / 写真を保存するための記憶域を設定します。変更するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。必要なファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから設定を変更してください。               |
|            | 初期値に戻す   | —   | メニュー内の設定をお買い上げ時の状態に戻します。同時にmicroSDカードもフォーマットされmicroSDカードのデータが消去されます。操作の前に必要なmicroSDカード内のファイルをパソコンなどに保存してから操作してください。                |
|            | バージョン  | —   | バージョン情報を表示します。   |
| フォーマット     | microSDカードをフォーマットします。<br>※実行するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。操作の前に必要なmicroSDカード内のファイルをパソコンなどに保存してから操作してください。 |   |  |

# 記録時間の設定を変更する

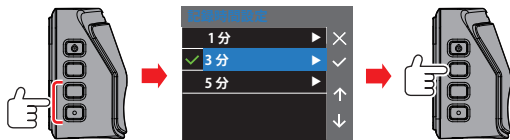
## 1 メニューを表示して「録画設定」を選ぶ



## 2 「記録時間設定」を選ぶ



## 3 設定したい時間を選ぶ



# フォルダ/ファイル構成について

microSDカードに録画したファイルは、項目ごとのフォルダにまとめられ、自動的に管理番号がファイルに付けられます。

パソコンの設定環境によって正しく表示されないことがあります。

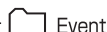
ルートフォルダ



フォルダ



ファイル



Event  
(イベント記録) (→ P.32)



EMER \*\*\*\*\*-\*\*\*\*\*.MP4



EMER \*\*\*\*\*-\*\*\*\*\*.NMEA



Parking  
(駐車録画) (→ P.33)



PARK \*\*\*\*\*-\*\*\*\*\*.MP4



PARK \*\*\*\*\*-\*\*\*\*\*.NMEA



Photo  
(写真) (→ P.34)



IMG \*\*\*\*\*-\*\*\*\*\*.JPG



Video  
(常時録画) (→ P.31)



FILE \*\*\*\*\*-\*\*\*\*\*.MP4



FILE \*\*\*\*\*-\*\*\*\*\*.NMEA



DEVICE.XML  
(システムファイル)

ファイル名には年・月・日・時・分・秒の順に自動的に付けられます。

\*\*\*\*\*-\*\*\*\*\*  
↑↑↑↑↑ ↑↑↑↑↑  
年 月 日 時 分 秒



# KENWOOD ROUTE WATCHER II

「KENWOOD ROUTE WATCHER II」は、本機で録画した映像を表示するためのパソコンツールです。

対応OS : Windows 7/8.1/10 32/64bit、Mac OS X 10.7以上

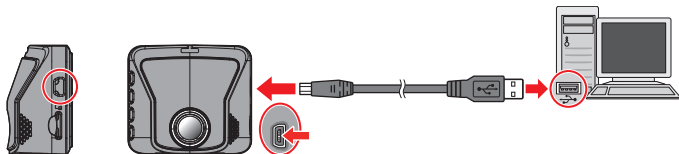
## インストールする

インストールをするときはパソコン環境を「管理者権限」にしてインストールしてください。

- 1 <http://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>で型名を選んでインストーラーをダウンロードする
- 2 パソコンにインストールする

## 録画ファイルの再生

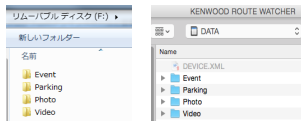
- 1 microSDカードを本機から取り外しカードリーダー(市販品)を使用するか、USBケーブル(市販品)を経由して本機をパソコンに接続する  
ミニ USB 端子は本機の側面にあります。



- 2 「KENWOOD ROUTE WATCHER II」を起動する

### 3 (開く) をクリックして再生したいファイルのフォルダを選択する

Windows    MAC



### 4 リストから再生したいファイルを選ぶ



選択したファイルの再生が始まります。

- フォルダを読み込むと新しい録画ファイルがリストに表示されます。
- 「カレンダー」タブをクリックするとカレンダーが表示され、録画した日を選ぶことができます。選んだ日の録画ファイルがリストに表示されます。「すべて」タブをクリックすると選択したフォルダのすべてのファイルがリストに表示されます。

# 画面の操作



- 1 再生画面  
2 操作ボタン

| ボタン | 説明  |
|-----|---|
|     | 再生を開始または、一時停止します。   |
|     | リスト上で前 / 後のファイルにスキップします。                                  |
|     | 再生速度を 1/4 倍、1/2 倍、1 倍、1.5 倍または、2 倍に変更します。                 |
|     | 音量をミュートまたは、ミュート解除します。                                     |
|     | 音量レベルを調整します。  |
|     | ビデオを全画面で再生します。 をクリックすると、通常表示に戻ります。                        |
|     | 再生の進行状況を表示します。トラックバーに沿ってポイントをクリックし、再生を別の位置に直接移動することができます。 |

### 3 地図画面

(本機は対応していません。)

### 4 地図全画面表示

地図を全画面表示します。  をクリックすると、通常表示に戻ります。  
(本機は対応していません。)

### 5 Gセンサーチャート

車の前/後(X)、右/左(Y)、および、上/下(Z)方向の動きに関する3軸波形をグラフとイラストで表示します。

### 6 ファイルリスト

### 7 録画の種類

チェックのついている録画ファイルがリストに表示されます。

### 8 カレンダー表示

録画された日に▲マークがつかます。▲マークが付いた日付をクリックするとその日に録画されたファイルがリストに表示されます。








### 9 すべて

選択したフォルダのファイルをすべてリストに表示します。

### 10 カレンダー

カレンダーを表示します。

## 11 ツールバー

| ボタン  | 説明  |
|--|---|
|  | 再生するフォルダを選択します。   |
|  | 現在のビデオ画像をキャプチャしたプレビューを印刷します。  |
|  | 選択したファイルをパソコン上の指定する場所にバックアップします。  |
|  | 現在のビデオ画像をパソコン上の指定する場所にキャプチャおよび保存します。  |
|  | 選択したファイルの GPS 情報をパソコン上の指定する場所に KML 形式でエクスポートします。(本機は対応していません。)  |
|  | 選択したファイルを YouTube にアップロードします。   |
|  | -言語変更：KENWOOD ROUTE WATCHER II に表示する言語を変更します。<br>-スキン変更：KENWOOD ROUTE WATCHER II の背景色を変更します。<br>-情報：ソフトウェアのバージョンおよび著作権情報を表示します。 |

## 12 位置情報と速度表示

(本機は対応していません。)

- カレンダーに祝日は反映されません。
- 地図画面は、パソコンがインターネットに接続されていない場合は表示されません。(本機は対応していません。)
- 駐車録画ファイル(Parking)を再生した場合は地図画面は表示されません。(本機は対応していません。)
- 写真ファイル(Photo)の再生はできません。

## 故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。(→ P.60)

### ■ 共通

| 症状                          | 原因   | 対処方法   |
|-----------------------------|--|--|
| 電源がオンにならない                  | シガープラグコードの差し込み(車両側、本機側)が不十分などで、電源が供給されていない | シガープラグソケットへの差し込みと本体側の差し込みを確認してください。(→ P.19)  |
|                             | シガープラグコード内蔵のヒューズが切れている                     | コードの配線を確認し、ショートしていないことを確認後、同じ容量のヒューズと交換してください。お買い上げの販売店または当社サービス窓口にご相談ください。(→ P.60)                                  |
| 録画できない<br>録画ファイルが<br>残っていない | microSDカードが入っていない                          | 本機で使用可能なmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してください。(→ P.25)<br>フォーマットについては、「microSDカードをフォーマットする」を参照してフォーマットを行ってください。(→ P.13) |
|                             | 4～32GB以外のSDカードを挿入した                        |  |
|                             | SDHCに準拠していないmicroSDカードが挿入された               |  |
|                             | microSDカードがフォーマットされていない                    |  |
|                             | データ容量に空きがないため、古い録画ファイルが上書きされてしまった          | 録画領域に空きがない場合は、録画ファイルの古い順に上書きされていきます。こまめに録画ファイルをパソコンなどへ保存してください。  |

## ■ 駐車録画

| 症状  | 原因                                     | 対処方法   |
|---|--|--|
| 駐車録画ができない                                   | 駐車モードがオンになっていない                        | 「駐車モード設定」を「オン」にしてください。(→ P.26)   |
|   | 電池が充電されていない                            | 0～45℃の環境で、本体の充電を行ってください。(→ P.19)<br>別売りのCA-DR150を使用している場合、配線が間違えていないか確認してください。(→ P.20)   |
|   | 「自動起動設定」が「手動」に設定されている                  | 「自動起動設定」を再設定するか(→ P.44)、画面に表示されている「P」に対応するボタンを押して駐車モードを手動で起動してください。(→ P.15)  |
|   | 急な坂道などに駐車している                          | 画面に表示されている「P」に対応するボタンを押して駐車モードを手動で起動してください。(→ P.15)<br>※ 本体起動時にGセンサーの値がプリセットされるため、起動時と停車時で本体の角度が大きく異なる場合、Gセンサーが誤った値を示してしまい、駐車モードの自動起動が正しく動作しません。 |
| 録画ファイルが途中で切れている                             | 内蔵電池の電池残量が少なくなった                       | シガープラグコードの電源コードが本体に正しく接続されているか、確認してください。なお、内蔵電池で記録できる時間は限られています。(満充電時：最大15分)(→ P.19)   |
| 別売りのCA-DR150を接続しているときにタイマー設定時間より前に録画が終わっている | バッテリーの電圧が別売りのCA-DR150の電圧カットオフ設定値以下になった | 別売りのCA-DR150の電圧カットオフ設定値を12.0Vに設定してください。それでも症状が改善されない場合、車両のバッテリー電圧が12.0V以下の可能性があります。車両販売店にて車両のバッテリー電圧を確認してください。CA-DR150の取扱説明書を確認してください。           |

| 症状                       | 原因                          | 対処方法  |
|--------------------------|-----------------------------|---|
| 録画ファイルが見つからない            | 駐車録画から常時録画に切り替わった           | 駐車録画中、衝撃を複数回感知した場合、常時録画に切り替わり、録画ファイルは「Video」フォルダに保存されます。「Video」フォルダを確認してください。(→ P.48) |
| 渋滞などの低速走行中、駐車モードが起動してしまう | 「自動起動設定」が走行状態に対して高い設定になっている | 「自動起動設定」を「低」に設定してください。設定感度を「低」に設定しても、症状が改善しない場合は、設定を「手動」にしてください。(→ P.44)              |

## ■ 時計

| 症状     | 原因          | 対処方法                 |
|--------|-------------|----------------------|
| 時計がずれる | 一(自動設定機能なし) | 手動で設定してください。(→ P.23) |

## ■ KENWOOD ROUTE WATCHER II

| 症状                             | 原因  | 対処方法  |
|--------------------------------|---|---|
| 録画記録が抜けている                     | 常時録画中にイベント記録が発生したり、駐車録画中に衝撃を連続的に検知し、常時録画に切り替わった | microSDカードに録画した映像は、項目ごとのフォルダにまとめられ、自動的に管理番号がファイルに付けられます。それぞれのフォルダを開いて、録画ファイルの有無を確認してください。(→ P.49) |
| KENWOOD ROUTE WATCHER IIが起動しない | 管理者権限でインストールしていない                               | 管理者権限でインストールしてご使用ください。(→ P.49)  |



# 主な仕様

## 撮影素子

1/2.7型 フルカラー CMOS

## レンズ

広角、F値2.0

## 最大記録画角

水平：約100° 垂直：約52°

対角：約111°

## 液晶サイズ

2.0型 フルカラー TFT

## 録画フォーマット

動画：MP4 (H.264)

静止画：JPEG 準拠(最大: 1920x1080)

## フレームレート

27.5fps

## 記録解像度

1920x1080 Full HD (約200万画素)

## 記録メディア

microSDHCカード

4GB ~ 32GB対応

Class6 以上

※最初に本機でのフォーマットが必要です

## 電源電圧

DC5.0V (12/24V 車両用シガープラグ  
コード付属)

## 消費電力

2.1W (常時録画時)

## 外形寸法(W x H x D)

61.2mm x 54.2mm x 32.3mm

ブラケット取り付け時 高さ：最大93.0mm

## 本体質量

57g (付属のmicroSDHCカード含む、  
ブラケット/ケーブル含まず)

## 動作温度範囲

-10℃ ~ +60℃

## 付属品

シガープラグコード(3.5m) x 1

取付ブラケット(両面テープ) x 1

microSDHCカード(16GB) x 1

取扱説明書/保証書 x 1

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

microSDHC、および microSDHCロゴはSD-3C LLCの商標です。

Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Mac、OS Xは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

「YouTube™」は、Google LLC.の商標または登録商標です。

この装置はクラスB情報技術装置です。  
この装置は家庭環境で使用することを  
目的としていますが、この装置がラジ  
オやテレビジョン受信機に近接して使  
用されると受信障害を引き起こすこと  
があります。取扱説明書に従って正しい  
取り扱いをして下さい。 VCCI-B

## ■ ソフトウェアについて

本製品には、以下に記載しています第三者のソフトウェアが含まれています。

各ソフトウェアについては、後述するライセンス条件が適用されます。

Konatu Font

Copyright (c) 2012 MASUDA mitiya

適用ライセンス：MIT License

libupnp

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation

適用ライセンス：BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

lwip

Copyright (c) 2001, 2002 Swedish Institute of Computer Science.

適用ライセンス：Modified BSD

## ■ 第三者のソフトウェアに適用されるライセンス条件

### MIT License

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and

associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

### BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

- \* Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- \* `\begin{itemize}`
- \* `\item` Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- \* `\item` Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- \* `\item` Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to

\* endorse or promote products derived from this  
\* software without specific prior written  
\* permission.

\* </itemize>

\* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT  
\* HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY  
\* EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING,  
\* BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES  
\* OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A  
\* PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO  
\* EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE  
\* LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,  
\* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL  
\* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED  
\* TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR  
\* SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR  
\* BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED  
\* AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN  
\* CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT  
\* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)  
\* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS  
\* SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY  
\* OF SUCH DAMAGE.

\*  
\*/

## Modified BSD

\* Redistribution and use in source and binary  
\* forms, with or without modification, are  
\* permitted provided that the following conditions  
\* are met:

\* 1. Redistributions of source code must retain the  
\* above copyright notice, this list of conditions and  
\* the following disclaimer.

\* 2. Redistributions in binary form must reproduce  
\* the above copyright notice, this list of conditions  
\* and the following disclaimer in the  
\* documentation and/or other materials provided

\* with the distribution.

\* 3. The name of the author may not be used to  
\* endorse or promote products derived from this  
\* software without specific prior written  
\* permission.

\*

\* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR  
\* "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED  
\* WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,  
\* THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY  
\* AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE  
\* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR  
\* BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,  
\* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR  
\* CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT  
\* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE  
\* GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR  
\* PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER  
\* CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,  
\* WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR  
\* TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)  
\* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS  
\* SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY  
\* OF SUCH DAMAGE.

\*

\* This file is part of the lwIP TCP/IP stack.

\*

\* Author: Adam Dunkels <adam@sics.se>

\*

\*/

# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## ■ 保証について

### 保証書

この製品には、保証書を添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げの日より1年です。

## ■ 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

### ・ ホームページ

<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

### ・ JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など)/FAX 045-450-2308

(受付時間などは裏表紙を参照ください)

## ■ 修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.54)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

## 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

## 補修性能部品の保有期間

本製品の補修性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- ・本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- ・本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
- ・保証期間内外に関わらず。修理・点検のために製品を車両から取り外し、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

## 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

## 内蔵電池の交換について

電池の使用できる時間が短くなったと感じられるときは、内蔵電池の寿命です。交換をお勧めします。内蔵電池の交換は、販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

## 本機を廃棄するときのご注意



Li-ion 00

### 充電式電池のリサイクルについて

本機に内蔵されている充電電池は、リサイクルできます。

充電電池の取りはずしは、お客様自身では行わないでください。

本機を廃棄するときは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

# 交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度

下記の申込用サイトに登録してください。

<https://jdrc-omimai.sakura.ne.jp/>

## 今すぐ事前Web登録を!

本制度のご利用にはWeb（ホームページ）からの  
事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または右の  
QRコードから申込用サイトにアクセス  
することができます。事前登録されない  
と補償金をお支払できませんので、購入後  
1ヵ月以内のご登録をお願い致します。



### 交通事故時ドライブレコーダー 買替補償金制度とは

ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協議会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

費用負担

**無し**

(費用はメーカーが負担します)

買替補償金

**4万円**

(一律)

**JDRC** **ドライブレコーダー協議会** 補償金制度担当  
お問い合わせ e-mail : [info@jdrc.gr.jp](mailto:info@jdrc.gr.jp)

## 内容

### 補償金の範囲

- ① ドライブレコーダーの再購入費用
- ② SDカード再購入費用
- ③ ドライブレコーダーの撤去費用
- ④ ドライブレコーダーの再設置費用
- ⑤ 交通事故証明書の発行費用
- ⑥ 補償金申請に関する資料及び物品の送付料
- ⑦ その他、上記に関する諸経費

### 補償金額

一律4万円

### ご加入費用

無料（費用はメーカーが負担します）

### 補償期間

登録日の翌日より1年間

### 受取人

本制度に加入しているご本人様となります。  
(死亡の場合は、法定相続人となります。)

### 対象となる交通事故

レッカー搬送を伴う自動車事故  
(追突された場合、車両が盗難された場合、  
車両が故障された場合は除きます。)

### 事故時における申請資料

下記資料をご提出ください

- ① ドライブレコーダー本体
- ② ドライブレコーダーの事故映像データが記録されたSDカード
- ③ 交通事故証明書(写しでも可)
- ④ レッカー搬送の証明書類
- ⑤ 再購入された同一メーカーのドライブレコーダーのレシート
- ⑥ 補償金請求書



正しい取付け  
正しい操作で  
安全運転

---

## 株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)  
0570-010-114 (携帯電話、PHS からはナビダイヤル)  
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308  
住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12  
受付時間 月曜～金曜： 9:30～18:00  
土曜： 9:30～12:00、13:00～17:30  
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。